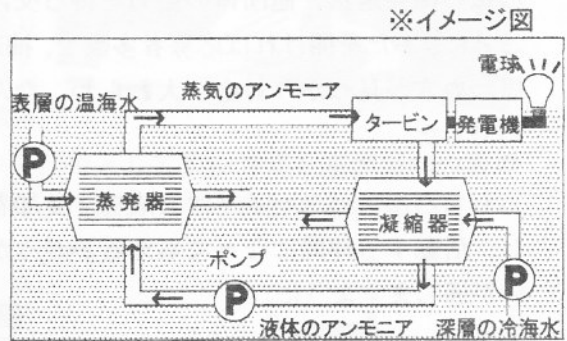


海のエネルギー利用

島国である日本は、昔から海の恵みをたくさん受けて生活をしてきました。その海を発電の資源として使う技術が進んでいるようです。いったいどんな仕組みで電気をおこすのか、調べてみました。

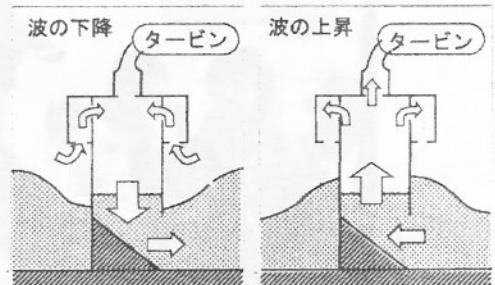
【海洋温度差発電】

太陽熱により暖まった海洋の表層と、太陽熱が伝わらない深層の温度差を利用。気化しやすいアンモニアなどを温かい海水で蒸発させ、タービンを回し発電させます。使用後のアンモニアは回収し、冷たい海水でもとの液状に戻し、繰り返し使います。



【波力発電】

海から打ち寄せる波の上下動（運動エネルギー）を利用し、それにより起きる空気の流れてタービンを回し発電します。発電装置は防波堤の役目も果たします。



国内では佐賀大学が伊万里にある『海洋エネルギー研究センター』で最先端の技術研究をしているそうです。その施設では、潮力や塩分濃度差などを利用する発電の研究も進められています。

化石燃料を資源に豊かな生活を享受している今の生活は、地球環境への負荷が大きく、それに変わる資源として自然エネルギーを活用する技術が本格的に導入され始めています。太陽や風の力と同じように、海にも大きな可能性があり、それを実現させる技術力はすごいと感じました。現在離島など電気の供給が難しい地域での実用化が考えられていますが、日本のように資源に乏しく、海に囲まれた土地には好都合だと思えます。ただ、施設の建設コストがかかる為、なかなか建設が進まないのが現状のようです。

新しい技術開発の情報にワクワクしますが、今はまだ化石燃料に頼らざるを得ません。これら新技術の実用化まで、今ある資源を大切にしていきたいですね。

エコステだより

思いを形に

3月12日(水)、ついに「わくわくバスハイク」が実行されました。このバスハイクは、エコロワークショップの参加者5名で実行委員会を立ち上げ、組織化の講義を聞く一方、「仲間を増やしたい」という思いをかなえるべく策を練った、ワークショップ参加者による企画だったのです。

バスハイクの、きめ細やかな内容充実はもちろんのこと、館外実施のための環境整備、広報の機会選択、他団体の協力を得る交渉などなど、重ねた準備はてんこ盛り。嬉しいことに、ふたを開ければ応募者多数で、抽選をするほどの大人気。ところが... 実施前日、思わぬ穴が見つかり対応に大わらわ、なんていうハプニングもありつつ、当日を迎えたのでした。

もちろん、バスハイクは大成功。参加者からは、「大満足」の評価を頂きました。しかし、活動する仲間になってもえるかどうかは今後のお楽しみ!どうぞ、企画者の熱い思いが通じますように。



山海のめぐみの
結晶塩です。



企画者の声

今まで参加する側だった私たちが、初めてバスハイクを企画することになりました。事前の準備の多さにとても驚きました。今回、実際やってみないと分からないことがたくさん経験できました。当日無事終わった後の達成感は、言葉にできないほどの喜びでした。

参加された方からの「今日は楽しい1日だったわ」という言葉も励みになりました。私たちにとっても本当に楽しい1日でした。

MYエコ宣言 ~Vol. 4 谷井 博美 氏 (宗像市長)

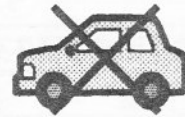
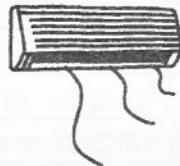
宗像市役所の2階を歩いていると、窓の外の緑が目に入ります。庁舎中央、1階増築部分の屋上緑化です。目の前に見える屋上緑化は省エネだけでなく、2階で働く人にとっても心のオアシスになっているのではと思いました。



谷井市長は、“省エネと健康増進を柱とした“葉山ヘルスケア・省エネ共和国”の国民であることに誇りをもっておられて、温暖化対策の必要性を熱く語られました。市民のひとつひとつの省エネ行動を積み上げてこそ、地球規模の温暖化防止につながるの、市として葉山方式を宗像市内の数カ所に広げていく計画だそうです。また、企業、行政、市民の三者で懇談会を持ち、スーパーのレジ袋有料化に向けて取り組んでおられるそうです。

市役所全体

エアコンの設定温度を調節



ノーマイカーデー

市長ご自身

部屋を出るときには電気を消す



マイバッグを持ち歩く



踏切での
アイドリング
を止める



生ごみを肥料にして
家庭菜園に利用するなど



首長という立場で、日常生活の中で省エネを実践していらっしゃる宗像市長は頼もしい存在です。今後の宗像市の取り組みが楽しみです。谷井市長には、お忙しい中時間オーバーしても丁寧にインタビューに答えて頂きありがとうございました。

MYエコ宣言

生ゴミの肥料化(減量化)を続け、
家庭菜園に大いに活用していきます

次回は、葉山ヘルスケア・省エネ共和国大統領 今西 良一 氏です。

活動報告

～2月～

日	自主活動	エコロの森ステーション活動
1		MY企画 登録M
2		古Tシャツ回収ボックス設置
4	定例会議	運営会議 教室会議 ポラ育成会議 展示会議
5		エコロ環境教室(会員)
6		リメイク教室(麻呂キヤポル) (小学校) 館外教室 MY企画 登録M 取材
7		開発活動
8		開発活動 MY企画 登録M
12		エコロワークショップ MY企画
13		MY企画 春休み教室通信発行
14		エコロ環境教室(会員) MY企画
15	ニュースレター34号配信	登録M
18	古賀市環境審議委員会出席	
19		ウツシユアツ準備会 MY企画 1Fフロア季節展示更新
20		エコロなウツシユアツ 啓発施設視察
21	三井物産助成金団体交流会参加	↑ IJOスル(包んでエコ)教室 IJO環境教室(行政) MY企画
22		↓ MY企画 登録M
23	エコエコクッキング出前講座	
26		MY企画 ポラ会(エコエコクッキング)
27	エコけんニュース103号発行	MY企画 エコエコクッキング ほっとちやっと57号発行
28		リメイク教室(小布織り) MY企画
29		春休み教室先行予約受付 MY企画 登録M

※ 登録M……………利用登録メール配信

今月のトピックス!

東京で行われた三井物産助成金団体交流会にチームリーダーが参加しました。別の空気に触れ、いろいろ考えるところもあったようです。また、エコロの森では「利用登録」という新しい試みが始まりました。登録された方の携帯電話に毎週1回以上、メール情報を届けています。うまく定着し、広がって欲しいものです。



思いを形に

特定非営利活動法人

NPOエコけん

連絡先 〒811-3121 古賀市筵内1970-1 玄界環境組合古賀清掃工場 再生・展示棟

TEL/FAX 092-944-3012 MAIL ADDRESS eco_ecoken@ybb.ne.jp HP ADDRESS http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/